

日 刊

# 新東京

No.1659

2015年  
8月3日(月)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

## 支部大会に向けて 一普分会会議を開催

ジメジメとした梅雨が終わり夏の暑さが到来し始める時期となった7月30日(木)、日勤終了後、組合室にて一普分会会議を行いました。

当日は、一普分会の他に二特分会と郵便企画分会が8月2日(日)ティアアラ江

東にて行われる第8回定期支部大会に向けての分会会議が行われており、各分会活発な意見集約が行われました。

大嶋書記長の司会進行のもと、高橋執行委員より「今の分会体制で行う会議は今日が最後となります。一普

分会は、他分会に比べ役員  
の育成や分会活動は牽引役  
となっていたと思つてま  
す。個人的には寂しい気持  
ちもあります。活発な意  
見集約の場としましょう。」  
と挨拶がありました。

まずは、議案書審議から  
始め組合費見直しの対応や  
問題点などが出されました。  
また、来年度採用予定  
の一般職について、組合員  
対象の勉強会の開催を昨年  
に引き続きやって欲しいと  
求める考えを固めました。  
次に、職場の問題点の洗  
い出しや意見集約に入りま  
した。現状の問題点より、

8月23日以降の現場の作業変更が大きな焦点となりました。社員が減る事による分担配置変更。今ある全ての区分機が次世代区分機へと更改になること。一普は、他の分会より北部局に異動する人が多いため、通常業務は残った社員で協力して頑張る方向で一致しましたが、年末の年賀繁忙への不安は大きく、今年は他分会の協力が例年以上に必要だとの認識を確認しました。ただ、現在行われている8月23日以降の業研内容は、現場の動線がよく考えられており、現状の弱い

部分をフォローしてある内容となつていて、細かい部分については臨機応変に対応しつつ、会社側の上意下達の指示に注視し対応していく方向で一致しました。

北部郵便局関連については、現地での訓練が始まっている事もあり、異動者から色々な情報が出てきました。新東京と北部局の連携不備や準備の遅れなどが聞かれ、当初の説明から変更になつた部分については、新東京支部で対応する案件と、東京北部支部で対応していく内容と精査して求め

ていくこととなりました。会議も終盤になり、8月7日に開催予定の北部郵便局異動者送別会の状況や、当日の流れなどを話し合い、無事に成功させる事を確認し終了しました。

一普分会の役員の多くが今回、北部郵便局へ異動となります。残った役員を育成しつつ、新しい風を取り入れ、今まで以上に発展させていきたいと思ひますので、今後も引き続きご指導をよろしくお願いします。

日 刊

# JP 新東京

No.1660

2015年  
8月4日(火)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

JP 労組新東京支部

## 第8回定期支部大会

「真に組合員の幸せ」追求を確認

8月2日、江東区の施設「ティアラこうとう」において、JP 労組新東京支部第8回定期支部大会が開催された。最近の支部の大会等は、組合員の皆さんの大切な組合費から支出される限られた予算を有効に活用していくという方針の下、区の施設利用を推進している。今回、支部大会を開催した「ティアラこうとう」は、江東公会堂ともいい様々な催しが開催される大ホールも備えている。初めて利用した施設だが広く綺麗で次回も利用したいと思った。

東京地方本部や中央連協の支部代表の方、ポストライフ、退職者の会、組織内議員等多くの来賓がお祝いに駆けつけてくれた。横のつながりの大切さを実感した。伊丹副支部長が、議長が決まるまでの間仮議長を務め、資格審査委員長に3バック分会海地代議員、議長に3バック分会海地代議員、議事運営委員長に1普分会小平代議員、選挙管理委員長に1輸送分会千葉代議員、大会書記長に2普分会村野執行委員を任命、議長には2普分会中島代議員が立候補し、満場一致で当選し大会成立が確認された。

議長から「しらふで話すのは苦手だが、代議員皆さんの力をお借りして、今大会を成功させたい」と挨拶があり、議長の華麗な議事裁きで会は進められた。

はじめに、議事運営委員から、議事運営委員会で確認された7点について説明が行われ、代議員全体で確認された。その後、荒牧支部長より「暑い中、多くの来賓の方々が駆けつけてくれたことに心よりお礼を申し上げます。昨年一年を振り返り5月4日に開局した東京北部郵便局への要員協議、初めての経験だったが皆さんのお力添えで乗り越えることが出来た。支部として、要員協議に向けた支部オルグを2期間で実施し、約400名の組合員に直にお話することが出来た。結果として、多少の不手際があったが、ほぼ希望通りの配置ができたと思っている。また、昨年度は、年末真っ直中で衆議院選挙が行われ、組織内議員の山花いくお氏の再選に向け多摩地区に住む組合員の方を中心に協力頂いた。さらに、4月には、統一地

方選が行われ、江戸川区議会議員中里氏、江東区議会議員新島氏の再選に向け多くの組合員の方にご協力頂いた。心より感謝する。山花氏・新島氏においては残念な結果となったが、中里氏においては、これまでの得票数を大きく上回る得票で当選となった。来夏、参議院選挙が行われる。JP労組から「なんば獎」が2期目の挑戦をする。この戦いは絶対に負けられない。今年の失敗を振り返り、同じ失敗を繰り返すことのないよう万全の体制作りに努めなくてはならない。今回は約14万票の得票でなんとか当選することが出来たが、今回は20万票を超えないと危険といわれている。新東京として、せめて組合員数の得票を確保できるように全力を尽くす決意である。5/4東京北部ゆうパック部門移行時、1か月程度は混乱したが今は正常運行していると聞く。8/23の郵便部門移管時にむけ万全の体制作りに努める。8/23以降、異動等の影響で、新東京支部組合員数1000名を切る事が現実となってきた。組織の力は仲間の数の力といっても過言ではな

い。次回、第9回支部大会では1000名を超えて望めるよう1年頑張っていきたい。最後に、新東京出身の小林東京地本執行委員が今年度、東京地本の書記長となった。新東京支部は地本の書記長を出すほどの支部だと自信を持ってほしい。そして、来年度待ち受ける様々な課題に正面から取り組み乗り越えていこう」と挨拶があった。

その後、来賓の皆さんから激励の挨拶を頂戴した。東京地本の小林書記長からは「組合オルグが減少してきていることへの危惧から組合員の声を直に聞くことの重要性を再認識してもらうため、新東京支部にオルグを開催してもらったこと。地方大会で新東京支部が機関紙表彰を受賞したのは継続することの重要性が認められたこと。東京地本執行委員の役員体制の変更と紹介。連協のあり方について現場の声を反映しやすい形へ変更するため役員任命等変更すること「全員参加」の汗をみんなかこう、のキーワードから今後の活動の説明等々、短い時間ではあったが、わかりやすく説明して頂

いた。その後、高橋(卓)執行委員より一般経過報告の説明がなされ午前中は終了した。

〇臨席頂いた来賓の皆様〇

- 東京地本 小林書記長
- 東京地本 山元執行委員
- 貯金支部 阿部支部長
- 本社支部 榊原支部長
- 本社支部 狩野書記長
- 東京銀座支部 久保書記長
- 東京千代田支部 草島副支部長
- 東京国際支部 佐々木副支部長
- 東京郵便輸送支部 飛鳥馬支部長
- 東京中部支部 小川副支部長
- 東京北部支部 酒井支部長
- ポスライフ東京地本 村崎部長
- 江戸川区議会議員 中里 省三様
- 前江東区議会議員 新島つねお様
- 新東京支部退職者の会 下山会長
- 東京中部支部 斉藤支部長

「ろうきん」よりお知らせ

一般財形・財形住宅・財形年金新規申し込み及び積立額変更期間中。

8月1日(各職場での締切日)

※詳細は組合役員までお尋ね下さい

日 刊 新東京	No. 1661	2015年8月5日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

# 第8回定期支部大会 発言内容

8月2日に行われた支部大会において、各分会代議員の皆さんから出された発言内容を掲載していきます。延べ23の発言を頂きましたが、誌面の都合上、全て掲載できないことをお詫びいたします。

## 1 普分会

8月23日、北部局へ郵便が移行されるが機械類・レイアウト等準備が進んでいないように見えた。1ヶ月を切った現状で間に合うか心配。また、新東京の1普が大幅減員となるが、後補充の予定はあるのか。組合費について、同意を得られなかった場合の対応は誰がどのように行うのか。

## 郵企分会

来夏の参議院選挙に向けて、応援カードの具体的な活用方法と組合員への理解浸透策を示して欲しい。カベ新聞の活用について、カベ新聞の存在を知らない組合員もいると思う。全組合員に知ってもらい、見てもらえるような取り組みが必要ではないか。同じように組合の共済制度についても、数ある共済商品の宣伝不足を感じる。申込期間中、毎日、日刊に載せる等対応すべき。

## 2 特分会

前回の選挙対応について、応援カードを中々書いてもらえない事があった。選挙・政治に対する関心の低さを感じた。出来れば難波議員に新東京へ来てもらい講演の場を作れないか。安保関連法案に対する特別決議について、上部機関の行動に参加するのはもちろん、新東京支部独自の行動をおこすべきでは。

一般職と地域基幹職、行っている仕事は同じで給与に差がある。不公平感を感じる。給与明細に「役割成果給」という欄ができ

たが説明を受けていない。皆疑問に思っている。

### 1 特分会

北部局の事前訓練を受けてきた。局舎内の福利厚生面で不足している面が目についた。改善を求める。分会間の連携が弱く感じる。業務上関係する分会間の交流・打合会等、支部として設けていただきたい。再雇用社員について祝日非番の付与等、分会によって不公平が生じている。北部局の作業方法について、手作業が懸念される。女性や非力な社員では対応できない場面も想定される。誰もが出来る作業方法の確立を求める。

### 窓口分会

お客様から「暑すぎる」という苦情が多々入る。お客様も利用される場所なのでエアコンの設定等、早急な対応を求める。

新たな人事評価制度について、ポイントの配分に不明確な点がある。フィードバック時に丁寧な説明を求める。

政治・経済について勉強できる環境作りを。組合事務室に雑誌を置く、等。支部のサークル活動、写真部の設立を求める。

### 3 パック分会

夏期繁忙時に派遣社員により業務運行を確保したが、初日しか出勤しなかった、という事例がある。要員確保が困難な現状は理解するが、派遣社員の活用は慎重にすべき。

### 1 輸送分会

銀パレ、黄鉄パレットの傷みが目に余る。背の高いパレットを使用出来ない際非常に困るので、更改・修理対応を迅速に行っていただきたい。エレベーターの改修工事が行われているが、空調不良等も多くある。施設改修の優先順位はどうなっているのか、示してもらいたい。

### 2 普分会

暑さ対策、特に棚区分場。去年まで設置されていた扇風機が今年は無。是非設置を求める。作業能率にも影響が出る。先日、暑さのせいか、トイレ近辺で臭いがひどかった。この時期は清掃頻度を増やす等の対策を。北部局開局前に支部オルグが行われたが、様々な点でもっと支部オルグを開催してもらいたい。

### 羽田分会

繁忙期間中のコンテナ開披について、会社側からの説明だけで、組合からの情報提供が遅かった。この事だけでなく、羽田に関するものはオープンになり次第、速やかに情報提供を要請する。

日 刊 新東京	No.1662	2015年8月6日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## 第8回定期支部大会答弁

### ★8・23北部局移管対応について

準備はまだのようだがこれから急ピッチでやることと思う。

足りないところは北部支部の支部長にも頼んでいく。

減員対象ではない職場から要員協議で減になるのに増員しない経緯はわからない。業務量に応じた要員配置なのだから少ないまま働けとはならない。

異動後の新しい職場への不安感を持っている人は多いがそれぞれに応じた体力や条件により「できることをやっていく」職場にしていきたい。実際、北部局へも赤パレの上段にドンと積んでくる支社もあるので、局を通して適切に搭載してくるよう指導をするよう粘り強く交渉していきたい。

北部局研修時に深夜勤落とされたとかは局側の理由がわからない。コストカットとしてやられているのであれば問題ある。

うわさでは…やったこともない担務も…とあるが、今までの担務で北部局へ異動すると説明してきたし、そのつもりです。指定表が一部不具合あるようだが深夜勤導入時の約束事は今でも変わらないものであり、深夜勤4連続のあとは7日間空けるとかある。

### ★職場環境の整備について

熱中症対策の塩飴に替わるものがあれば聞いてみる。

職場はどこも限界なくらい暑い。当然職場環境を維持するのは事業者の責任ではあるが、健康で働く環境ではない。高温の中で働かせるのは安全配慮義務に違反している行為。厚生労働省の熱中症予防対策をみても局としての対応は不十分である。再度会社に申し入れをしたうえで、上部機関とも相談していく。

私書箱の利用者側もまだ空調の効きが悪いとの指摘は確認して対応します。

早め早めに修繕していければ修理代も節約できるとの指摘は心強いです。これまで以上に局側に言っていきます。

### ★労働災害防止について

新東京はけがや労災が多いのは事実であり、自分の息子をここで働かせたく

---

---

ないと思う。フォークリフトや有人車で事故が起きたら重大事故となるため、挙動のおかしい物は点検修理対応を求めていく。フォークリフトの連続時間運転は重大事故が発生する前にある程度取り決めを作っていかなければと感じる。

★(新)一般職の処遇改善について

(新)一般職の制度ができてまだ一年ちょっとでわからないこともある。役割定義書で地域基幹職と仕事に対する役割が違くとされているが、実際は同様の仕事をまかされている。職場を熟知し2年スキルがSSであれば試験を受けられると導入の時に決められたと思うが詳しくはまだ決まっていない。

★安保法制安倍政権の横暴について

国民の多くがノーと言っているものであり、大きな声となってきた。今、反対の声をあげていかないのは恥ずかしいことだと思います。反対の運動を大きく広げていきましょう。よろしくお願いします。

支部での独自企画は考えていきたい。

★支部オルグについて

支部オルグは機会があれば気軽に場を作っていきたい。

★8・23北部局移管後について

北部局あての有証は1特で差立るのは知らなかった。業務がどう変わり増えていくのか注視していきたい。

8・23北部局移管後の新東京の職場も問題となるのに部長がミーティングにすら顔を出さないのはおかしい。しかもほぼ毎日とは…。

★女性フォーラムについて

昨年実施した陶芸教室は好評だったので前向きに検討していきます。

地本でやった「タニタ」は支部の企画として考えていきます。

非正規の女性用シャワーは1階の守衛さんに鍵を借りる事になっている。

会社内に託児所を作ったらどうかというのは案としては素晴らしいとおもうのでどうしたら設置できるのか他社の取り組みなど参考にしていきたい。

★広報部活動について

政治や経済を学んで組合活動につなげたいということでしょうか、組合事務室に「平和文庫」もある。経済情報誌も活用していけるようであれば支部長と相談していきたい。

支部独自サークルの新設は歓迎します。

日刊紙の分会担当については、毎月割り振るというのではなく。要所要所で書いてもらいたい。第1回広報部会議で決めていきますので必ず参加してくだ

---

---



さい。

### ★労働力政策について

新規採用を求めているのは全国大会でも地方大会でも意見が上がっている。引き続き組合として対応していく。

### ★そのほか

・貯まらない応援ポイントカードは、部によっては10コ貯まった人もいと聞いた。3月31日までの施策のようなので応援を一定評価してもらおうということではたまらないひとにもなにかあればいいのではと思う。

・羽田の浴室清掃については求めていきます。

・羽田分会への情報提供については執行部で再検討していきます。

・支部活動については議案書にもあるように、1人で頑張ってもむずかしく、活動が見えないものを伝えていく大切さ。だれかにやらせるのではなく、みずからが進んで活動していくということを基本にやっていきたい。指摘されて気づくこともありますので、不十分な点は言ってください。

・短期ゆうメイトの募集が集まらないので派遣会社を使ったが出勤率や働きに問題あれば検討していく。

## 夾竹桃のうた

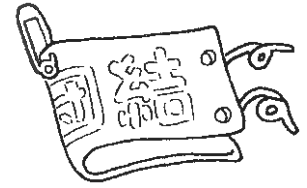
♪夏に咲く花夾竹桃 戦争終えたその日から

母と子供のおもいをこめて 広島の野にもえている～♪

長崎に住む友達は小中学生の夏休み、8月6日に出校日として学校へ行ったという。先生が平和の大切さについての話しをし、原爆で灰になった人の写真集を見たあと「夾竹桃のうた」を生徒みんなで歌ったという。その友達は当然東京でもやっているものと思っていたらしいが、全く記憶にない…。

最後に感想文を書かせるのが苦痛だったようだが、九州全体の学校でやっているのではないかと saying していた。

「核兵器も抑止力」だという現政権の党首に70年前の悲劇がなぜ起きたのかは理解できないのだろう。武力を増大させて他国の領土へ行けば侵略者となり殺し殺される。安保法制が強行採決されようとしている。地球の裏側まで制限なく日本の軍隊が進出することにならないためにも反対の運動を強めていこう。



2015年度

# 正社員登用学力試験対策 講習会のお知らせ

来年度の4月1日付正社員登用試験の一次試験（学力テスト）対策の講習会を支部で開催します。

試験に慣れるという意味でも事前対策をお勧めします。

日時 8月9日（日）13時～16時 25名程度

場所 新東京局内会議室

対象 一次試験を受けるゆうメイトさん

内容 言語・非言語・適正試験対策・心構え

講師 三名を予定 執行部はサポートします

参加希望の方は組合事務室のホワイトボードに名前と分会名を記入してください。

**※対象組合員に声かけをよろしくお願いします**



新東京支部 執行委員会



## 大会宣言

J P 労組新東京支部第 8 回定期支部大会は、『真に組合員の幸せ』を追求し、2014 年度の活動を振り返るとともに、組合員としての成長を確認する大会となった。

各分会代議員の多くの意見を踏まえ、新生『J P 労組新東京支部』の二期目となる 2015 年度からの二年間の活動方針を決定し、支部・分会が一体となり活動を行う事を確認した。

2008 年 9 月の結成大会から 7 年が経過し、職場において組合員間の交流が図られ、日々の活動が行われている。この間、私たちを取り巻く社会や職場の環境は、めまぐるしく変化し、組合員の生活改善の為の対応や、労使交渉における J P 労組の強いリーダーシップの発揮が求められている。大会論議では、各分会の討論を通じ、支部・分会の活動の弱みや課題が明らかになった。

その第一点は、第 8 回定期全国大会でも議論された「組合員への求心力の希薄さ」の課題である。複数の社員区分のある組合員との「集い・聴き・話し・行動する」等の活動を、積極的にを行い、仲間の数と力を再認識していく事が必要である、と確認した。

第二点に、労働組合の任務であるチェック機能である。日々、職場で発生する問題から始まり、新たな人事・給与制度や、8・23 の東京北部開局関連、日本郵政三社の株式上場にいたるまで、私たちの処遇や労働条件の向上の反映に、労使パートナー宣言にのっとりチェック機能の発揮が求められている事は、明白な事実である。

第三点は、政治に対する意識の向上である。ひとつに、来年夏の参議院議員選挙での「なんば英二」必勝への、最大限の努力である。なんば氏の第 8 回定期全国大会での思いを受け、私たちの雇用や処遇のためにも、国政の場で訴えてもらわなければならない。ふたつに、現在国会では安保関連法案が可決されようとしている。横暴な議案審議は、有権者として遺憾の意を表さなければならない。いずれも、私たち組合員に課せられた使命だと認識した。

最後に、「中期経営計画」、「ネットワーク再編」、「福祉型労働運動」、「5 年総括」、「労働力政策」、「組織拡大」と課題は山積しているが、ひとつひとつチェック機能を発揮して、対応していく事を、全員で確認した。

「真に組合員の幸せ」を追求し、実現する、という大きな目標に向かい、今こそ労働組合の原点でもある「組合員のための組合」へと、J P 労組の活動を再構築するためにも、新東京支部の良き風土でもある、仲間の声に耳を傾け、前進すること、仲間を大切にしていこうとを心に刻み、基本活動に邁進しよう。

以上、宣言する

2015 年 8 月 2 日  
日本郵政グループ労働組合  
新東京支部  
第 8 回定期支部大会

# 公 示

2015年度新東京支部役員選挙の投票結果を下記のとおり公示する

記

## 支部長選挙

		定数 1名	立候補 1名	有効投票数50		
氏名	年齢		不信任	信任	不信任	無効
荒牧 栄司	44		2特分会	49	1	0

## 副支部長選挙

		定数 1名	立候補 1名	有効投票数50		
氏名	年齢		分会名	信任	不信任	無効
伊丹 章	54		窓口分会	50	0	0

## 書記長選挙

		定数 1名	立候補 1名	有効投票数50		
氏名	年齢		分会名	信任	不信任	無効
井上 正幸	47		1普分会	47	3	0

## 執行委員選挙

		定数 17名	立候補 17名	有効投票数50		
氏名	年齢		分会名	信任	不信任	無効
高安 洋平	32		総務分会	50	0	0
村野 学	41		2普分会	50	0	0
小山 健司	38		2普分会	50	0	0
石井 直	39		1輸送分会	49	1	0
高井 和彦	46		1普分会	50	0	0
本間 博文	41		2特分会	50	0	0
上田 隆志	42		1輸送分会	49	1	0
高橋 卓馬	34		1普分会	49	1	0
金沢 稔	44		3ゆうパック分会	50	0	0
武井 浩	38		郵便企画分会	50	0	0
中口 祐樹	43		郵便企画分会	49	1	0
江澤 智明	39		郵便企画分会	49	1	0
滝原 信彦	42		3ゆうパック分会	47	3	0
小林 良宏	33		羽田分会	50	0	0
佐藤 和代	35		1特分会	50	0	0
菅家 和範	43		郵便企画分会	50	0	0
木村 陽介	42		2特分会	50	0	0

## 支部会計監査選挙

		定数 2名	立候補 2名	有効投票数50		
氏名	年齢		分会名	信任	不信任	無効
岩崎 直之	42		2特分会	50	0	0
岡部 渉	50		窓口分会	49	1	0

以上

2015年8月3日

日本郵政グループ労働組合 新東京支部  
選挙管理委員会 委員長 千葉 哲三

J P 労組 新東京支部 主催

# 登用一次試験対策

## 講習会 開催

8月9日(日)、新東京郵便局  
内1階研修室で、正社員登用を  
目指し一次試験を受ける期間雇  
用社員を対象に、登用試験対策  
講習会を開催しました。

当日は13時からの開催でし  
たが、深夜明けの人も参加して

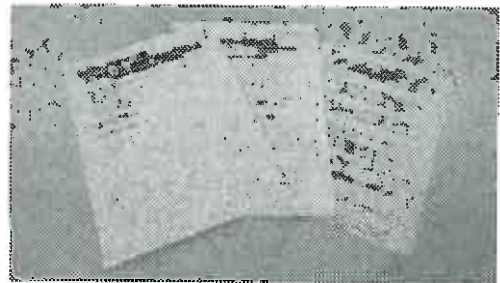
総勢20名ほどの方が集まって  
一緒に勉強をしました。

昨年の登用試験から導入され  
たWeb試験について、紙での  
試験との違いや受験時の注意点  
など、前回実施されたものの傾  
向を踏まえながら講習を進めて  
いきました。

試験問題に  
ついては、昨  
年の実施内容  
から考える

と、特段の高  
い学力が求め  
られる訳では  
ないようでは  
ない。しかし、  
そこに求めら  
れる解答速度には目を丸くさせら  
れました。

問題の種類にもよりますが、1  
問につき1分程度で解かなくては  
ならないものや、更には10秒ほ  
どで解いていかなないと全問解答に  
至らないケースが多いのです。こ  
れに加えて、パソコンに不慣れな  
人にとってはマウス操作という負  
担が重くのしかかります。



そこで、講習会では本番の雰囲気を感じてもらおうと、配布テキストの問題を1問につき1分で解いてもらいました。参加者からは「早い」「短い」などの声があがっていました。

講習の後半では、性格テスト(適正検査)について勉強しました。

設問の中には内容的に同じ問があり、矛盾のない回答をしているか審査しているだとか、回答内容を数値化して適正を判断しているとか、更には絶対に選んではいけない回答があるだとか、性格テストを受ける上で注意点や心構えについて講習しました。

3時間の講習も瞬く間に終了しましたが、今回の講習会が少し

でも皆さんの助けになり、一次試験を無事通過されることを願っています。深夜明けや休みにもかかわらず講習に参加してくださった方については、本当にありがとうございました。



## Web試験を 体験してみよう!

現在、新東京支部では一次試験を受験される方に、Web試験を体験してもらおうと、組合事務室のPCを1台開放してWeb模擬試験が受けられるようになっています。

組合員なら誰でも利用できますので、お気軽に事務棟2階南側奥までお越し下さい。

## 連合8・23

未来の子どもたちのために平和主義を守ろう

「みんなで安倍政権にNO！」

国民の声、怒りの大行動に参加しよう

連日の諸活動の展開  
に心から感謝申し上げ  
ます。

ます。

さて、連合はこの間の与党の  
数による強行的な政治手法に怒  
り、暴走する安倍政権にストツ  
プをかけるため、連合構成組織  
のほか関係諸団体等にも呼びか  
け、1万人を集めた「大規模抗  
議行動」を以下のとおり開催し

つぎましては、下記の日程で  
動員要請がありましたので、東  
京地本としても連合の仲間と共  
に積極的に参加することといた  
します。参加要請支部のご協力  
をお願い致します。

日時  
2015年8月23日(日)

10時30分～12時

場所

国会周辺路上

(Jp労組は国会議事堂正面)

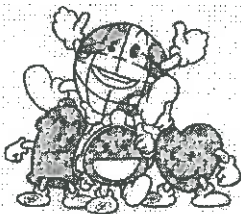
※最寄駅「国会議事堂前」

「永田町」

家族・友人などの参加を呼び  
かけます。

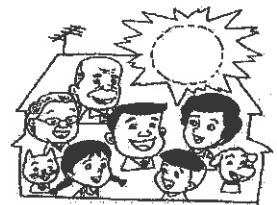
本抗議行動を社会的な世論喚  
起につなげていくため、組合員  
の家族・友人などの参加協力を  
お願い致します。

野外での抗議行動となります  
ので、参加にあ  
たっては暑さや  
熱中症対策など  
体調管理に十分  
留意願います。



# 八月一五日

## 戦後七〇年後の今日



一九四五年(昭和二〇年)八月一四日、日本政府はポツダム宣言を受諾し、翌一五日の正午、昭和天皇による玉音放送によって日本が無条件降伏したことが国民に伝えられる。

その後もアメリカ力軍による空襲が続けられていたが、これによって三年八ヶ月続いた太平洋戦争は終結した。

戦後七〇年を数える一九四五年は、硫黄島、沖縄決戦、東京大空襲をはじめとする日本全国への大空襲、広島・長崎への原爆など人類史上最悪の歴史に残る年でもある。

厚生労働省によれば、この戦争による戦没者は約三二〇万以上、そのうち日本本土以外の戦没者は二四〇万人にのぼる。

戦後七〇年たった今も海外戦没者の半数ちかくの二一三万の遺骨は収容されていない。戦争の悲惨さを今も伝えている現実だ。

一般に日本では、八月一五日が終戦の日とされている。

しかし一九五二年(昭和二十七年)四月二七日までの新聞紙上では、九月二日を「降伏の日」や「降伏記念日」「敗戦記念日」と呼んでいた。

た。

大韓民国では八月一五日を「光復節」と称して、日本による朝鮮半島統治からの「解放」を祝う日となっている。

北朝鮮も同様に、八月一五日を「祖国解放記念日」として祝っている。

アメリカ、イギリス、フランス、カナダ、ロシアでは、日本が降伏文書に調印した九月二日を対日勝戦記念日としている。

台湾と中国は、旧ソ連と同じく、九月三日を「軍人節」「抗日戦争勝利の日」としている。

戦後七〇年の今日、安倍政権によつて新たな戦前がつくられつつある。NO!の声をあげていきましよう。(F)



日 刊

# ア新東京

No.1666

2015年  
8月21日(金)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

## 2特分会2015夏しく

# 「北部局異動者送別

# ビアガーデン」を開催

連日の猛暑がやや落ち着きを  
見せた8月9日の日曜日。暑く  
はあるも時おり吹く風が心地よ  
く感じる日本橋三越屋上のビア  
ガーデンにおいて、2特分会恒  
例の夏レクを開催しました。  
今回は東京北部郵便局へ異動  
される方の送別会でもあり、当

日は2特分会の組合員のみなら  
ず、たくさんさんのゆうメイトさん  
や2特OBの方、そして7名の  
北部局異動者（社員5名・ゆう  
メイト2名）を含む総勢50名  
もの参加がありました。  
予定の6時30分を少し過ぎ  
たころ、こういった場での安定

した仕切りぶ  
りに定評のあ  
る岩崎副分会  
長の司会によ  
り、会がスタ  
ートしまし  
た。

まずは高木分会長より、「本  
日は大勢の方にご参加をいただ  
き、ありがとうございます。み  
んなでおおいに食べて飲んで、  
楽しい会にしましょう。」と開

会の挨拶があ  
りました。

つづいて、  
北部局へ異動  
される方を代  
表して2特B  
サイドの石井  
さんに乾杯の





ビールやサワー、ソフトドリンクなど、それぞれ好みの飲み物を手に取り、乾いた喉をうるおしました。食べ放題の食事をつまみながら、普段の職場とは違った雰囲気の中で、夏の夕暮れのひと時をそれぞれが楽しみました。

おいに飲んで食べて交流がすすむなか、レク開始から1時

音頭をとっていただき、お待ちきれない思いでいた面々は、

間ほとして、今回北部局へ異動される方々より、一言ずつご挨拶をいただきました。  
名残を惜しむ方、心機一転頑張ろうという意気込みの方、待てるから早く来てね（笑）という方、皆それぞれの思いを語っていた、送る人、送られる人、それぞれがおおいに盛り上がりました。  
2時間のレクも瞬く間に過ぎて、そろそろ終わりが近づくと、荒牧支部長より、  
「北部局の立ち上げは、JP労組にとっても大変重要な案件です。異動される方は特に大変な思いをされる事が多々あると思います。新東京に残る我々も大変な事に変わりはありません。お互いが力を合わせ、頑張



っていきましょう。」と挨拶がありました。  
最後に締めくくりとして高木分会長による力強い「団結、がんばろう！」の唱和で、送別ピ  
アガデンは盛況のうち終了しました。今回、勤務の都合等で参加できなかった北部局へ異動される方々におきましても、更なるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

日 刊 新東京	No.1667	2015年8月24日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## 物流ネットワーク再編に係る 新拠点について

日本郵便株式会社は、郵便物やゆうパック、ゆうメール等の地域区分郵便局（区分作業拠点）を集約し、機械処理率を高めることでネットワーク全体の生産性を大幅に向上させる『郵便・物流ネットワーク再編』を推進しています。

その一環として福島・群馬・神奈川西部及び岡山の各エリアを受け持つ地域区分郵便局について、以下のとおり建設準備を開始しました。

受持エリア	所在地	敷地面積	完成時期
福島エリア	福島県郡山市富久山町福原	約 48,000 m <sup>2</sup>	2017 年度春頃予定
群馬エリア	群馬県高崎市宮原町	約 36,000 m <sup>2</sup>	2017 年度春頃予定
神奈川西部エリア	神奈川県海老名市中野 3 丁目	約 44,000 m <sup>2</sup>	2017 年度夏頃予定
岡山エリア	岡山県総社市長良	約 42,000 m <sup>2</sup>	2016 年度冬頃予定

(注) 上記計画は現段階の見込みであり、今後変更の可能性もあるものです。

### 1 新拠点の設置計画について（福島エリア）

#### 概要

郵便・物流ネットワーク再編を推進するため、新たに用地を確保し、新拠点を設置する計画です。

- (1) 上記計画は現段階の見込みであり、行政協議等の状況により変更があるものです。
- (2) 具体的な実施計画については、労働協約に基づき、別途、提示します。

(参考) 当該局における郵便・物流ネットワーク再編の業務計画案

- ・ 96、97地域の地域区分事務
- ・ 受持エリア内の内務区分事務の集中処理

## 2 新拠点の設置計画について（群馬エリア）

### 概要

郵便・物流ネットワーク再編を推進するため、新たに用地を確保し、新拠点を設置する計画です。

- (1) 上記計画は現段階の見込みであり、行政協議等の状況により変更があるものです。
- (2) 具体的な実施計画については、労働協約に基づき、別途、提示します。

(参考) 当該局における郵便・物流ネットワーク再編の業務計画案

- ・ 37地域の地域区分事務
- ・ 受持エリア内の内務区分事務の集中処理

## 3 新拠点の設置計画について（神奈川西部エリア）

### 概要

神奈川西部エリアに設置予定の新拠点について、下線部の計画を変更しています。

- (1) 上記計画は現段階の見込みであり、行政協議等の状況により変更があるものです。
- (2) 具体的な実施計画については、労働協約に基づき、別途、提示します。

(参考) 当該局における郵便・物流ネットワーク再編の業務計画案

- ・ 24、25地域の地域区分事務
  - ・ 受持エリア内の内務区分事務の集中処理
  - ・ 物流ソリューションセンターを併設
- 
-

日刊  
**ア新東京**

No.1668

2015年  
8月25日(火)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

# 羽田分室御用達、「レストランあずさ」にて 暑気払い& 8月18日 北部局異動者送別会開催！！

朝晩の暑さは幾分落ち着いてきたものの日中はまだまだ残暑が厳しい折、8月18日の火曜日17時半より、羽田分会メンバーには超お馴染みの御用達店、羽田空港第1旅客ターミナル1F・北ウィング到着ロビー脇にある「レストランあずさ」にて、8月23日の日曜日より

北部局へ異動となる杉浦さん、相澤さんの送別会が、暑気払いも兼ねて盛大に開催されました。

今回の送別会は新規拠点局への大いなる船出ということもあり、岸分会長、青木副分会長、古谷書記長、小林執行委員を始めとして、日勤帯・夜勤帯の順

に徐々に人数が増していき、最終的に羽田分会としては異例の、実に総勢19名もの参加者を誇りました。

夏期休暇中の方や勤務帯の都合上どうしても参加できなかった方を除いて、お休みなのにあえて参加してくださいました。深夜勤前に少しでも短時間ながら顔を出してくださいました方等、羽田ファミリーの結束の強さを垣間見た一夜となりました。

普段から培っている羽田分会の結束の強さを物語るかのよう



に、17時半からの少人数での開始からも、異動される杉浦さんを中心に程なく盛り上がりを見せ、時間を追うごとに増えていく参加者の数に比例して、場は益々活況を呈していきま

た。  
20時頃、異動される相澤さんを含む夜勤帯メンバーが業務を終えて合流し、盛り上がりはいよいよ最高潮を迎えました。

仕事やプライベートの話、昔話や今後の展望等、会話は多岐に渡り、22時頃のお開きまで絶えることなく、美味しい料理とお酒をお供に和気藹々と楽しいひと時を過ごしました。

ここ「レストランあずさ」では、夜は居酒屋形態としてももちろん営業しておりますが、表

向きは「蕎麦屋」ですので、普通に食事だけをされるお客様もいらつしやる中でこれだけの大人数が盛り上げられるのは、ひとえに古くからポトルキープを欠かしたこのない岸分会長や、あずさ全スタッフと親交の深い小林執行委員のたゆまぬご尽力に他ならず、またいつも快くお迎えくださるあずさスタッフの皆様にも、この場を借りて感謝の意を表します。

最後の締めで杉浦さんと相澤さんより感謝と抱負の言葉を頂戴し、盛況の内に送別会は幕を閉じました。


お二人の今後の更なるご活躍を、羽田分会一同祈念しております！！

## 火災共済・自然災害共済に 加入しよう!!

割安な掛金で、大切な住宅や家財を幅広く保証する共済です！！

火災による損害のほか、落雷や他人の居室からの水漏れなどによる損害にも対応。台風や洪水などの風水害に対しても共済金が支払われます。自然災害共済は保証範囲がさらにワイドに！！地震、津波、噴火、盗難事故による損害に幅広く備えることができます。

詳しくは組合役員まで…

	No.1669	2015年8月26日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## 「2015年度年末年始業務運行推進の基本方針・要綱」に対する要求書を提出

本部は、日本郵便から示された「2015年度年末年始業務運行推進の基本方針・要項（案）」に対する要求をとりまとめ、本社に提出しました。

今後は、地方意見を十分踏まえ、9月中の大綱整理をめざし、精力的に要求交渉を積み上げていくこととします。

日本郵便株式会社  
代表取締役社長  
高橋 亨 殿

日本郵政グループ労働組合  
中央執行委員長 小俣 利通

### 「2015年度年末年始業務運行推進の基本方針・要綱」に対する要求書

2015年度年末年始業務運行の推進に向けて、下記のとおり要求するので、速やかに誠意ある回答を示されたい。

#### 記

##### 【総論（基本方針）】

- 2015年度の年末年始業務繁忙は、日本郵政株式会社が株式上場（予定）後に迎える初めての業務繁忙であり、郵便局がこれまで以上に注目される繁忙期である。事業の使命は、お客さまに約束したサービスを確実に提供することであり、会社の決意を示すこと。

【要員関係】

10. 業務運行確保のための労働力確保は必須である。郵便局の信頼は、品質確保及び向上が不可欠であることから、必要労働力確保に向けた具体的方策を示すこと。
11. 業務量に応じた適正なコストコントロールとなるよう指導すること。特に、短期期間雇用社員の配置については、職場実態を加味した基本計画とし、労働力確保が困難となった場合の支社・郵便局支援策を示すこと。
12. 短期外務期間雇用社員の内務へのシフトについては、職場実情を踏まえた対応策が必要であり、郵便局の実態に則した対応を可能とすること。

【年賀郵便物関係】

13. 1月2日は休配とすること。
14. 元旦における出勤時間は、郵便局段階で柔軟な設定を可能とすること。
15. 郵便・物流ネットワーク再編及び旧集配センター統合直後の業務運行計画等については、事前に課題を把握し、具体的サポートを行うこと。

【ゆうパック関係】

16. 受託者確保対策として、委託単価を必要に応じて引き上げること。また品質確保が優れている受託者に対し、インセンティブを設けること。
17. ゆうパックの併配については、数値ありきの運用とならないよう郵便局指導を徹底すること。なお、具体的指導を行う場合は、現場実態を把握し、局所にあった対応策を講じること。

【運送便関係】

18. 過積載の防止に向け、積載制限の厳守に向けた会社としての具体的指導を示すこと。またドライバーから積載オーバーの申し出があった場合の具体的対応策を示し、確実に実施させること。

【施設関係】

25. 国際郵便通関交換局の具体的業務支援策を実施すること。
26. ゆうパック増加等による必要な部外施設は、郵便局の要望を踏まえ対応すること。

以上

※一部抜粋しています。

---



日 刊  
**ア新東京**

No. 1670

2015年  
8月27日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

## 北部郵便局異動者

# 送別会報告

### 窓口分会

北部郵便局に異動された方4名と、4月1日付で窓口部に配属されてきた方1名の歡送迎をする会を、8月9日(日)に東陽町の「はなの舞」にて行いました。

当日は蒸し暑い日でしたが晴天に恵まれ、総勢24名の方に集まっていたという盛況

トしました。

しばし歓談の時間では、北部郵便局への質問や、窓口部の職場に対する問題点などを求めた場面があり、分会役員として貴重な意見を頂きました。

しばし盛り上がったところで、北部郵便局へ異動する方たちと1特から窓口へ配属され

ぶりとなりました。

18時、窓口分会の重鎮である金沢副分会長から開催宣言をいただき、会はスタート

た方から一言ずつ挨拶をいただきました。それぞれが新しい職場、新しい環境への抱負を述べられ、決意を新たにしています。続いて、北部郵便局へ異動する方々へ記念品の授与が行われ、会場からは惜しみない拍手が響き渡りました。そして、宴もたけなわから終盤へとすすみます。長年一緒に働いた仲間との思い出、これから共に働くパートナーへの激励が会話に混じります。

まだまだ話し足りないところでしたが、最後に星名分会書記長から前途を祝した締め言葉で会は幕を閉じました。会を開催するにあたり、多くのカンパを組合員の方々より頂き、紙面をもって感謝申し上げます。ありがとうございました。  
(投稿・佐)

# 川内原発 再稼働

## 住民の安全置き去りのまま

今夏は記録的な猛暑が続いたが、それでも原発を必要としなかった。が、川内原発(九電)が新規規制基準下で再稼働した。スタート早々、復水器内のトラブルでつまずいたが、9月中には営業運転に移したいという。

再稼働した川内原発1号機は、去年7月に30年を迎えた、いわば老朽化した原発だ。原子炉等規制法では運転開始から30年を超える場合、電力会社は老朽化を評価し、保安規定を策定する必要がある。原子力規制委員は、その保安規定を基に審査し認可するという手続きを踏む。しかし、九電は今年の7月になつてようやく1号機の老朽化の

補正評価書を提出した。規制委員は、審査が継続中でも1号機の再稼働は問題なしと異例の容認をした。始動から32年経つ原発に対し、規制委の安全認識に大きな疑問が残る。

福島第1原発事故から約4年半、国や電力会社、規制委は一体何を学んだのか。責任の所在もはつきりしない。国が「世界で最も厳しい基準だ」と胸を張れば、九電は「規制委の新規制基準に適合した」とかわす。しかし当の規制委は「安全を保証するわけではない」と逃げる。1707年の富士山の宝永噴火、1783年の浅間山の天明噴火、1914年の桜島の大正

噴火―といった大規模な噴火は近年にはない。だが、大噴火は専門家でも予測が難しいゆえ、いつ起きてもおかしくないという。そして今、日本は各地で火山活動が活発化している。

昨年、御嶽山が噴火して多数の登山者が犠牲となった。今年に入ると、箱根山が入山規制となり、5月には口之永良部島(鹿児島)で噴火、警戒レベル5(避難)を示し継続中だ。桜島では小規模な噴火が続き、噴火警戒レベルが4(避難準備)に上がった。避難所に身を寄せた住民もいて、今も予断を許さない状況にある。

川内原発30キロ圏内の9自治体に対し、避難計画の現実的な対応を速やかに提示すべきだ。住民の安全が確保出来ぬなら、原発の再稼働は許されない。(I)

日 <b>JP新東京</b> 刊	No.1671	2015年8月28日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## 輸送情報システムの 運用テスト（本番）の実施

次世代郵便情報システム後続開発の1つである「輸送情報システム」について、システムが問題なく稼働できるかどうか、システムを使用した業務が円滑に運用できるかを確認するため、運用テスト(本番)を実施します。

本部は、先行実施の結果等について質しました。会社は、本年6月に行った試行では、特に問題なくシステムが稼働したことから、今回は、全局で本番に合わせた形でテストを実施し、システムが円滑に運用できるか確認するとしています。

本部は、スムーズな輸送運行に資する取り組みと判断し、本件について了しました。

今後も引き続き、次世代郵便情報システムの後続稼働に向けた準備状況等を注視し、必要な対応を図っていくこととします。

### 1 実施概要

#### (1) 実施対象局等

全局

#### (2) 実施対象作業

全ての運送便の差立・到着登録等、輸送情報システムを使用した全ての機能。

#### (3) 登録内容

差立・到着日時、差立・到着荷量及び担当者名等

#### (4) 実施期間及び対象便

2015年9月9日(水)午前9時以降当該局起点出発便から9月11日(金)午前8時59分当該局起点出発便まで

### 2 その他

10月1日のリスク回避のため、実施するもの。(6月に一部の郵便局で実施した先行試行の結果、問題がなかったもの)

なお、現行システムである発着管理システムについては、該当の対象期間の便は2重入力を行わない。

## 2015年9月末経営効率化勧奨退職 応募者全員 620 人の実施を確定

日本郵便株式会社より、2015年9月末の経営効率化勧奨退職の実施について、応募者全員 620 人に対して承認し、準備出来次第、本人通知を行うとの説明がありました。

本人に対しては、口頭および書面にて通知が行われますが、本社に対し、年休消化に特段の配慮を行うよう申し入れたところです。

本部は勧奨退職後の後補充策について注視するとともに、引き続き、必要な会社対応を図っていくこととします。

① 2015年9月末経営効率化勧奨退職(高齢勧奨退職)は、  
応募者全員に対して承認する。

② 本人への通知は、オープンの日以降、準備でき次第行う。

③ 応募者数

620人（内訳	郵便・物流事業	346人
	窓口事業	274人）

日 刊 IP 新東京	No.1672	2015年8月31日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## 新たな体制による 第1回 執行委員会を開催

8月27日(木)、1階の応接室にて新体制になって最初の執行委員会を開催しました。当日は、業務対応で急遽出席出来なかった役員を除き、20名中18名の出席となりました。

井上書記長の司会進行で、まずは荒牧支部長より挨拶がありました。これからの2年間、このメンバーでスタートします。頑張っていきましょう。教えてもらう情報は忘れてしまいますが、自ら調べ学ぶことは忘れません。積極的に力をつけていきたいと思いますとの発言がありました。

続いて、支部役員の任務分担決めが行われ、色々な役割を勉強していくため、前体制の分担から配置換えが多くありました。また、支部活動の効率化のため、青年女性活動部は組織部に組み込まれる事も合わせて確認されました。

次は年間の活動方針が話しあわれ、ひと月に1回程度の執行委員会の開催を確認し、業務の負担にならない時期や曜日設定で行う事を確認しました。直近として、9月24日(木)に第2回執行委員会も兼ねた分会代表者会議の開催を決めました。

年間のスケジュール関係としては、前体制時からの会議やレク、年末繁忙の意見集約等、必要となる事は継続し発展させていく事を確認しました。

各部の報告として、加入書(I型)の変更や8.23以降の組合員名簿の集約(組織部)、組織部との合同会議を予定していること(共済部)、北部異動者のリスト集約や会計報告など(総務部)がありました。

他の報告としては、8月9日に開催された正社員登用の勉強会、安保関連の動員報告、初めての文化サークルとして写真部の創設、北部局問題などがありました。

最後に、9月30日（水）に職場集会を開催する予定です。詳細は後日、日刊紙等でお知らせします。執行部一同、多くの組合員の方々の参加をお待ちしております。

## 2015年度 支部役員任務分担表

	氏名	任 務 分 担
支 部 長	荒牧 栄司	全体統括、渉外、苦情処理(正)、ビジョン2021
副 支 部 長	伊丹 章	事務局運営補佐、苦情処理(補)、退職者会、3・10実行委員
書 記 長	井上 正幸	事務局運営責任者、局窓口(正)、苦情処理(正)、労金、連協幹事
総 務 部	◎ 金沢 稔	組合費、組合員異動報告、労金対策局長、選挙関係事務
"	高橋 卓馬	会計、冠婚葬祭、IT化推進
組 織 部	◎ 石井 直	組織対策、苦情処理(補)、組合員異動報告、署名、動員、春闘、共闘
"	村野 学	組織対策、署名、動員、春闘、共闘、青年女性活動補助、レク
"	高井 和彦	組織対策、署名、動員、春闘、共闘、青年女性活動補助、レク
政 策 部	◎ 菅家 和範	局窓口(副)、業務対策、意見要求集約、調査企画立案、カンパ
"	中口 祐樹	業務対策、意見要求集約、企画立案、予定表管理、カンパ
"	上田 隆志	業務対策、意見要求集約、企画立案、予定表管理、カンパ、企画補助
企画教育部	◎ 武井 浩	企画立案、予定表管理、調査集約、文書整理
"	江澤 智明	企画立案、福祉型運動、調査集約、文書整理、広報補助
"	滝原 信彦	企画立案、福祉型運動、調査集約、文書整理
広 報 部	◎ 木村 陽介	教宣部長、日刊紙・壁新聞管理、日刊紙交流、消耗品・印刷機器管理
"	小山 健司	日刊紙・壁新聞担当、日刊紙交流、印刷機器管理、政策補助、レク
"	高安 洋平	日刊紙・壁新聞担当、日刊紙交流、印刷機器管理、レク
福祉共済部	佐藤 和代	共済事務局長、福祉・共済責任者、女性フォーラム、男女共同参画
"	本間 博文	福祉・共済担当、共済会計、女性フォーラム
"	小林 良宏	福祉・共済担当、共済会計、組織補助、女性フォーラム
会 計 監 査	岡部 涉	会計監査
会 計 監 査	岩崎 直之	会計監査
選管委員長	千葉 哲三	選挙管理委員会

◎部長

2015年8月27日現在